

# 「釣児」たちの熱闘！立花学園Bチームが圧倒！！

## 「マアジ甲子園」1.51キロ



表彰式を終え笑顔の参加者たち

### 奮闘した参加者の声

#### フカセ名人尊敬

◎大沢 大輔（立花学園高2年） 釣果25匹。釣り部があるので同校に進学。部員19人を束ねるキャプテン。5歳から父に連れられ溪流に。フカセが好き。尊敬するのもフカセ名人「大知昭さん」。将来はガントリークレーン操縦士を目指す。（中山丸）



立花学園・大沢

#### 船中1号ゲットだ！

◎小出 龍之介（桐朋高1年） 船中1号。釣果は12匹。釣りは7歳くらいから始めた。アジは「4回目」。アイドルより「植木等が面白くて好き」。宇宙工学方面に進むのが夢。（中山丸）



桐朋高・小出

#### 母は10匹以上NG!?

◎田中 志希（日大二中1年） 釣りは2回目。「お母さんから10匹以上は持って帰るな」と言われました。さばくのが面倒なので…。（吉野屋）



日大二中・田中

#### 1・17キロ個人大物賞

◎長田 駿友（東京実高2年） アジとは違う当たり。竿が満月状態まで上げてと、1・17キロのクロダイ。個人大物賞をゲット。チームは3位に入賞し「来年は1位を目指して頑張ります」。（ミナミ）



東京実高・長田



優勝旗を手にマスクの下は笑顔の立花学園Bチームの生徒たち。大アジを釣り上げたチームの優勝に貢献した高田



高田 特大38・5センチ、510グラム釣った!!! 立花学園の「経験」がものをい

「バリバスカップ2020」スポニチ U-18選手権東京湾L-Tマアジ釣り大会」が9月22日、深川・吉野屋、南六郷「ミナミ、川崎・中山丸」で開催され、9校・14チーム、58人が参加。マアジ5匹の総重量を競うチーム戦でミナミに乗船した1・51キロの立花学園Bチームが優勝した。

9校14チーム58人マスク着用し熱戦 昨年の悔しさを今年のメソバが晴らした。立花学園の釣り部を率いる六郷雅弘教頭は「昨年は優勝を逃し悔しい思いをしたのでうれしいです。練習の成果が出ました」とうれしさを爆発。7月に東京湾で釣り船を仕立てマアジ釣りの練習を行った成果が出て、総合5位までに3チームが入り、圧倒的な実力を示した。実は、開催まで紆余曲折があった。コロナ禍の中、大会参加校とスポニチ、協賛各社の間で何度も事前打ち合わせを行い開催にこぎつけた。

- ◆大会成績 (マアジ5匹の総重量、単位キログラム)
▽総合成績 ①立花学園B (高田憲人、勝田康平、月村颯太、安島祐哉、中村颯) 1・51
②保善 (飯沼悠人、岸本康平、宮本浩斗、大下心平) 1・37
③東京実A (大山祥子、古田人陸、長田駿友、飯島知希、川久保弥) 1・32
④立花学園C (山谷謙太、大沢大輔、岩田悠希、五十嵐優雅) 1・17
⑤立花学園A (小森蒼大、小川通大、藤井雄太郎、原田伴丞、川口佳純) 1・12
▽個人大物 長田駿友 (東京実A) クロダイ1・17
▽個人外道 山谷謙太 (立花学園C) ホシザメ1・85
同Bチームで38・5センチ、510グラムを釣り優勝に大きく貢献したのが高田憲人 (高一) だ。練習を含めて釣りは3回目。「最初は小型しか釣れなかったけど、コマセの振り方をスタッフに教わり、それから大物が釣れだしました」。特大アジの引きは強烈で「(竿を持つ)左手が折れそうになった」と照れ笑った。

### 女子個人

# 岩井明愛が連覇

Table with 5 columns: Rank, Name, School, Total Score, and Individual Score. Lists top performers in the girls' individual category.

Table with 5 columns: Rank, Name, School, Total Score, and Individual Score. Lists top performers in the girls' team category.

人生初!! 1ラウンドで2イーグル 双子の岩井姉妹の姉・明愛が2イーグル、4バーディーで昨年夏に続く優勝もぎ取った。「今年は試合がなく、久々の試合でワクワクしていたので結果が残せてよかったです」 11番は残り220ヤードの第2打をグリーン横バンカーに入れたが、そのバンカーショットはピン手前に落と



夏に明愛が制した女子個人に続き岩井明愛が2年連続で優勝した

スポンニチ後援 関東高校ゴルフ選手権特別大会 スポニチ後援20年度関東高校ゴルフ選手権特別大会は10月30、31日、栃木県・那須野ヶ原CC (男子個人108人、団体23校) 67・10ヤード、パー72)と琵琶湖GC (女子個人109人、団体21校) 62・02ヤード、パー72)で行われた。コロナ禍で中止となった夏季大会の代替として実施され、男子個人は鈴木隆太 (埼玉・埼玉栄3年) が5バーディー、ノーボギーの67で2打差をつけ優勝。女子も同じ埼玉栄の岩井明愛 (あきえい3年) が66で制した。男女とも上位11人が12月の全国高校マツチプレー選手権 (沖縄) に出場。3人の合計スコアによる団体は男子優勝の埼玉栄は上位14校、女子は千葉・麗沢は上位10校が12月の全国特別大会 (三重) に出場する。

埼玉栄の独占止めた 女子団体は麗沢